



SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

1巻/15号 2019/6/25

SS探究ⅡB:第2回インフラさるく

2年文系の希望生徒を対象に、長崎ウエスレヤン大学基盤教育センターとの連携のもと開催しています。この取り組みは、産官学民の連携によるインフラに着目した協働型フィールドワークで、自らを取り巻く多様な社会環境を知ることやそれらとの主体的なかかわり方を実践的に学ぶことを目的としています。

2回目の今回は、長崎ウエスレヤン大学から磯本 光広 様、吉野 浩司 様をお招きして講義とワークショップを行っていただきました。班ごとに課題を設定し、来月に実施するフィールドワークを充実させるための準備を進めました。

長崎ウエスレヤン大学の学生の方もアドバイザーとして参加してくださり、活発に話し合いが行われていました。地域で起こっていることに目を向けることの大切さを理解してきているようです。



◆数理探究科(2年):科学探究講座



5月20日(月)、2年数理探究科29名が長崎総合科学大学を訪問し、科学探究講座を実施しました。これは大学との連携のもと、実習を通じた高度な科学的探究力の育成と科学技術に対する興味関心と研究職への憧れを喚起することを目的とした取組です。当日は、長崎総合科学大学大学院 新技術創成研究所の薄田 篤生 様、下高 敏彰 様、ならびに同大学院生2名の御指導のもと、コンピュータプログラミングとArduinoおよび各種センサーを用いた電子計測について取り組みました。

この研修では、単にプログラミングを走らせるだけでなく、研究開発やものづくりの際の基本的考え方など、多くのことを学ばせていただきました。今回の研修で得たことをヒントに、柔軟な発想でさまざまな方面への応用を考え、より質の高い課題探究ができあがっていくことと思います。

◆家政科(2年):生物セミナー

5月24日(金)、長崎女子短期大学 教授の松尾公則 先生を講師にお招きし、生物セミナーを開催しました。松尾先生は、長崎県生物学会の会長でもあり、長崎県の生物研究をリードするとともに幼児から大人までの幅広い年齢層を対象とした教育・啓蒙活動にも熱心に取り組まれています。当日は、カエルを題材として、生物の多様性やその保全の大切さについての講義やヒキガエルの捕食行動の観察、実際の触れ合い体験など、盛りだくさんの内容を実施していただきました。

最初の頃は「カエルに触るのなんて無理!!」といった生徒たちも、最後の方にはかなりの数の生徒がカエルに触れることができるようになりました。今回の研修を通じ、生徒たちの生物や自然についての興味関心や多様性についての理解が深まりました。



◆SS探究Ⅰ:個人リサーチ活動



1年生がSS探究Ⅰにおいて個人リサーチ活動に取り組みました。この取り組みの目的は、「視野の拡大・情報収集の手法の習得・プレゼンスキルの習得をはかり、2学期以降に取り組むミニ課題探究の質を向上させる」ことです。

6月20日(木)に、各人が提示されたテーマを元にインターネットや書籍等を用いて調べ、まとめたものを、クラス内で4コマプレゼンの形式で行い、「伝え合う力」を高める活動に取り組みました。

互いの成果を伝え合うことで、多くの知識やものの見方、伝え方などを獲得することができたようです。2学期以降の探究活動にどう生かされていくか、楽しみです。